



ニホンザリガニとは



講師の
小原さん

ザリガニみたことある?

ニホンザリガニとアメリカザリガニの違いや、ウチダザリガニについて基本情報を学びます。

ニホンザリガニって今は少ないから大切にね。



私が、ニホンザリガニです!

ニホンザリガニさがし



ニホンザリガニがいるのは、こんな沢

ここを探してみよう♪

見つけたよ!

沢へ降りて、ザリガニ探しです。小さな流れの石の下や砂利の中にニホンザリガニは隠れています。

これ! 見て!

石の下にいるかな?

オスかな?



たくさんニホンザリガニを見つけました! オスメスを見分けたり、赤ちゃんザリガニも見つけました。



説明聞くとまた面白い!

ニホンザリガニ観察



どれが大きい?

一番大きいザリガニの比べっこをしたり。カケ、ロウなどの川虫の観察も。はじめは怖がっていた子ども、みんなザリガニに触れるようになりました。



楽しかったね~

軍手や袖は濡れたね

ニホンザリガニとの出会い

ニホンザリガニと出会って50年近くにもなりますが、未だに飽きもせず、山へ入ると必ず探しています。ニホンザリガニに初めて出会ったのは、美唄市の山奥の炭坑町でした。炭坑は人も多く、木もたくさん使うので、山は木が切れられハゲ山が多かったです。そんな中でもところどころにちよっぴ

りだけニホンザリガニが住んでいました。炭坑が閉山し、40年以上が経ち、すっかり緑が復元した故郷には、今、たくさんのニホンザリガニが住めるようになりました。

札幌は良い森がたくさんあるので、ニホンザリガニもあちこちで見られます。ぜひ近所で探してみてください。その時は小さな生き物を踏まないよう気を付けてくださいね。 **コラム** 小原聡さん

発行・お問合せ **自然ウォッチングセンター**

〒005-0005 札幌市南区澄川5条10丁目4-16 Tel: 011-583-5208 Fax: 011-583-5233
E-mail: wanpakuasobitai@tea.ocn.ne.jp URL: http://homepage2.nifty.com/watching/

編集 おひょう

後援: 札幌市教育委員会 / この活動は、子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構)の助成金交付を受けて行うものです。